

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 129 号 2009.1.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求め「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

今年 2009 年、世の中の食の事情はいったいどうなっていくのでしょうか？ TOREK 自然農法ホットニュースは今年度も、安全な「食」のさらなる普及に少しでも貢献していくために、自然農法の実践や体験の話、各行事のレポートなどをご紹介します。よろしくお願いたします！（編集部一同）

TOREK 自然農法 体験学習

1月12日(祝)、千葉県長生郡の長柄山自然農園(山本養鶏場)の体験学習に行ってきました。

大人 19 人、子供 5 人の計 24 人が参加し、鶏舎の清掃・採卵などのお手伝いをしました。



「このような作業を毎日のように淡々とこなしていることは、まったく頭の下がる思いでした。この地道な労働が自然農法の根幹をなしていることを改めて認識しました」「ヒヨコを手の平に乗せ、その鼓動を感じて、命の大切さに改めて感銘を受けました」

「清掃後、一個の卵が産まれているのを発見し、感激！産んだ鶏が、掃除してくれてありがとう！と鳴いているように感じました」

「一緒に参加した 5 歳の孫は、生き物に直にふれて作業したことが、大きな感動になったようで、次はいつあるの？ また行きたい！と言っていました」 などなど、楽しくためになる体験学習でした。次回もぜひ参加します、いっしょにどうですか！（編集部 田村）



2008 年、東中野頒布会をふりかえって

昨年は東中野会場で 4 回の頒布会が開催され、スタッフとしてたずさわることができ、心より感謝申し上げます。

会場で、塩むすびやお味噌汁を食した方々の表情が笑顔に変わっていく様子や、喜びの声を聞きながら、私自身、改めて自然農法の素晴らしさに感動し、また来場者が作物を購入する真剣な思い、心にふれ、多くを学ぶ機会に恵まれました。

昨年をふりかえって、その一部をご紹介します。

はじめて頒布会にいらした方は…

精神的につらく、普段は電車に乗れない方が、ほうじ茶を求めて、チラシの地図を頼りに、お友達に支えられながら、電車に乗っていらっしゃいました。その方は、1 回分のほうじ茶を以前に頂いたことがあり、その味に感動され、色が出なくなるまで何度も何度も飲まれたそうです。

常連の方で開店前より並んで来てくださる方からは…

「大病してからあわてて自然農法のものを買っても、食は毎日のことだから、間に合わない。たくさんでなくても、できるだけ日々、本当に命の糧になる自然農法の作物を食べたいと思っている」

「除草剤を使わない生産者のご苦勞を、田んぼの草取りのお手伝いに行き感じた。自然農法の作物が持つパワーと、作物に込められた生産者の想いを考えたら、値段が高いなんて言えない。購入することで、生産者の方への応援と発展につながればと願っている」

次回の頒布会は 2 月 22 日(日)です。塩むすび、お味噌汁、焼き芋など、会場 2 階でゆっくりとお召し上がりいただける販売コーナーもありますのでお楽しみに！皆様のお越しをお待ちしております。なお、買い物袋はご持参くださいますよう、お願い申し上げます。（スタッフ責任者 藤井千亜紀）



稲刈り体験報告 長野県 きじま平 編

昨年の稲刈り報告の最後は、長野県木島平村の堀さんの田んぼです。堀さんに、平成 20 年度の稲作を一言で？と伺ったら、「ダイナミック！」という予想外の横文字がかえってきました。堀さんが米作りをして十数年、今までにないダイナミックな稲だったそうで、無施肥無農薬栽培における稲の生長の姿に、堀さん自身、興奮されている様子でした。確かに、私も堀さんから説明を聞き、根っこがいい、分けつがいい、茎の太さ、穂の長さなど、どれをとっても、すばらしい出来だと思いました。



また、去年は 7 月 7、12、22 日の 3 回、のべ 24 名で援農に行っていたので、豊作の田んぼを目の当たりにし、とてもうれしかったです。

コシヒカリの田んぼ 6 枚は、コンバインを使って、堀さんの仲間が刈ってくれました。念入りに機械を清掃して、他のお米が混入しないようにしていました。また、今年のコンバインは藁を結束する機械がついていたので、藁を田んぼの外に出しやすかったようです。

もち米は、バインダーという手で押す機械で 1 列ずつ刈って行き、はざかけをして天日乾燥です。10 月 4

日、12 人の援農で、もち米の田んぼ数枚を刈らせていただきました。スリランカのサマンさんも大活躍。とても楽しい一日でした。（編集部 関谷）

病気になってわかる素晴らしさ！

静岡県駿東郡 稲葉清高



去年の 10 月末のことですが、腎臓に痛みがあり、食欲もなく苦しんでいました。そのときは、水分だけでもとろうと思い、飲み物を飲んでみました。しかし、すぐに吐いてしまい、何も食べることも、飲むこともできませんでした。しかも、そのときに飲んだものはミネラルウォーターでした。何も添加物などが入っていないと思っていたものでも、飲むことができませんでした。

ところが、その夜に自然のほうじ茶を飲んでみると、普通に飲むことができました。何も入っていないであろうミネラルウォーターは飲めないのに、自然のほうじ茶は飲めるのです。改めて、自然の作物の有難さ、素晴らしさを実感しました。

また、そのときに自然のお米も少し食べるのができ、健康のときは分らないことが、病気になって初めて気づけることを、身をもって実感しました。自然農法の作物は、本当に体にやさしい食物です。心から感謝しました。

お知らせ

自然農法頒布会	2月19日(木) 鎌ヶ谷会場	11:00~15:00 (売切次第終了)
自然農法頒布会	2月22日(日) 東中野会場	10:00~15:00 (売切次第終了)
自然農法勉強会	2月26日(木) 昼の部	10:30~ 夜の部 19:00~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定 2月4日・10日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産：きなこ、煮豆、納豆、大豆、青豆、豆菓子、きのこめし
市川生産グループ：煎茶
長柄山自然農園：卵、ダイコン
飯塚農園：みそ(500g 1,100円)
中島農園：下仁田ネギ、フキノトウ
よしたい農園：白米
ジョリフィーユ：マドレーヌココア、マドレーヌ、プリン、かぼちゃのモンブラン
10日はバレンタインセットもあります！



お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>